

2026 年度（第 1 回）日本形成外科学会形成外科領域専門医制度： レーザー分野指導医 資格更新審査についての公示

2026 年 5 月 20 日
一般社団法人 日本形成外科学会
レーザー分野指導医認定委員会
委員長 河野 太郎
担当理事 覚道奈津子

日本形成外科学会は、形成外科領域専門医制度：特定分野指導医細則およびレーザー分野指導医施行細則に基づき、第 1 回レーザー分野指導医資格更新審査を下記の要領で実施いたします。

1. 更新審査の対象となる分野指導医

2022 年度に分野指導医資格を得た日本形成外科学会会員を対象とする。

< 2022 年度資格取得者 >

相原有希子	赤石 諭史	赤松 正	秋元 正宇	秋本 峰克	秋山 太
浅井 晶子	浅岡 匠子	浅野 武雄	後村 大祐	姉川 美奈	綾部 忍
荒川 篤宏	荒川 夏希	荒木 夏枝	荒田 順	荒牧 典子	安楽 邦明
井口 聖一	石井 暢明	石川 耕資	石川 昌一	石川奈美子	石瀬 久子
石田 勝大	石椏 寛芳	石山誠一郎	井田夕紀子	市岡 滋	市川 明子
犬塚 潔	井野 康	井上 裕子	猪原 康司	今泉 りさ	今川孝太郎
岩井奈都子	岩崎 理恵	岩瀬わかな	植木 翔也	植田 有子	上田 吉生
上村由美子	内山 英祐	馬詰 真以	梅澤 和也	梅本 泰孝	江尻 浩隆
衛藤 明子	江藤 綾乃	江平まり子	大江 恵	大澤 幸代	大澤沙由理
大島希実子	大城 貴史	大槻 眞澄	大坪 美穂	大原 博敏	王丸 陽光
大村奈々穂	大山 拓人	岡田 恵美	緒方 寿夫	岡田 ゆき	岡山 直靖
小川 令	荻野 晶弘	荻野 浩希	尾崎 峰	尾崎裕次郎	長田 篤祥
小野紗耶香	小野田素大	小山 明彦	小山 麻衣	香川 久香	鍵本慎太郎
覚道奈津子	葛西健一郎	檜山 和也	柏木 慎也	風戸 孝夫	片平 次郎
片山 泰博	加藤 達也	加藤 秀輝	加藤 優子	門松 香一	金本 侑子
金子 繭子	亀井 航	加持 秀明	河合建一郎	河田 真作	川端 明子
河原崎彩子	菅 剛史	木内 達也	貴志 和生	岸 慶太	岸 陽子
北辻 まき	北原 正樹	北村 孝	北村理絵子	金 大志	木村眞之介
清川 兼輔	草田 朗子	櫛田 哲史	久野 鮎子	窪田 吉孝	熊澤 憲一
栗田 智之	栗原 健	畔 熱行	桑原 大彰	小池 智之	河野 太郎
神山 圭史	古賀 憲幸	木暮 鉄邦	五反田希和子	近藤 謙司	近藤 昭二
権藤 理絵	最所 裕司	齋藤 昌美	酒井 成貴	榊原 俊介	阪場 貴夫
坂村 律生	坂本奈津紀	櫻井 敦	笹尾 卓史	佐々木 薫	佐々木正浩
笹原資太郎	梶月 玲子	佐藤 卓士	佐藤 千草	佐藤 伸弘	佐藤 英明
芝岡 美枝	渋谷陽一郎	白澤 保子	城下 晃	神保 好夫	末延 耕作

杉本 貴子	杉本 孝之	鈴木 沙知	鈴木 敏彦	鈴木 茉友	鈴木 義久
須田 俊一	関堂 充	曾束 洋平	平 広之	高木 誠司	高木 正
高木美奈子	高田 温行	高橋 猛	高橋 長弘	高橋 周子	高原 厚子
高山 敦子	高山沙衣子	瀧川 恵美	武田 啓	武田 紘司	武田 孝輔
武田玲伊子	竹本 剛司	田島 宏樹	田中 宏明	田中 真美	田中 里佳
田辺 敦子	田邊 毅	時岡 一幸	戸澤 麻美	戸田 直歩	富田 祥一
中井 國博	永井 史緒	中尾 崇	中岡 啓喜	中川 達裕	中川 雅裕
中川由美子	中島 順子	永田亜矢子	中田 元子	中西 新	中野 貴光
中原 麻理	名取 悠平	新美 陽介	西尾 優志	西岡 弘記	西林 涼子
西堀 公治	西堀 真依	二ノ宮邦稔	沼尻 敏明	根本 充	野口 昌彦
野田 和男	野田 武志	野村 智史	野村 正	野元 清子	橋川 和信
橋口晋一郎	長谷川 隆	長谷川祐基	波多江顕子	畑野 麻子	羽多野隆治
波田野智架	服部 友樹	服部 亮	花井 潮	馬場 香子	浜島 昭人
林 礼人	林 洋司	林田 健志	日笠 壽	東盛 貴光	備前 篤
一氏 俊世	日原 正勝	平野 由美	平松 幸恭	深井 孝郎	福井 剛志
福田 憲翁	福原 定子	藤井 奈穂	藤井美香子	藤井 美樹	藤川平四朗
藤田 宗純	藤森 靖	藤山 浩	藤原 敏宏	藤原 雅雄	測上 淳太
舟山 恵美	古川 洋志	保條めぐみ	堀 圭二郎	堀尾 修	前川 絵美
前田 大介	前田 由紀	前場 崇宏	増田 禎一	増本 和之	松下 友樹
松村奈津子	松村 一	松本 麻由	丸山 成一	三木 綾子	右田 尚
水上 高秀	水野 博司	峯 友梨	峯 龍太郎	峯岸 芳樹	峯田 一秀
宮島 哲	宮本 純平	宮脇 剛司	宗内 巖	村下 一晃	望月真理子
望月 祐一	森下 剛	森島 容子	守永 圭吾	森久陽一郎	森山 壮
矢加部 文	矢澤 真樹	矢島 和宜	安田 昇平	山内 大輔	八巻 隆
山路 佳久	山下 理絵	山本 裕介	余川 陽子	吉岡 直人	吉川 哲哉
吉田 一暁	米田 敬	力丸 英明	力丸由起子	若槻 華子	渡邊亜希子
渡辺あずさ	渡邊 英孝	渡邊 美佳	渡辺 玲		

2. 更新審査の対象となる期間

2022年度に分野指導医の資格を取得した方は、**2022年1月1日より2026年12月31日**までの5年間の業績を下記に従って申請してください。

3. 更新審査提出書類

形成外科領域専門医制度：特定分野指導医細則およびレーザー分野指導医施行細則に基づき、以下の1)～6)の更新審査書類をご提出ください。なお、様式1, 2, 3, 4につきましては、日本形成外科学会ホームページよりダウンロードしてご利用ください。5月中掲載予定です。

■日本形成外科学会ホームページ URL

< <https://jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html> >

- 1) レーザー分野指導医資格更新申請書 (様式1)
- 2) 履歴書 (様式2)
- 3) 日本形成外科学会 専門医認定証 (コピー)
- 4) 業績目録 (資格更新申請用 ※証明書含む) (様式3)
- 5) 診療実績報告書 (様式4)
- 6) 更新審査料振込の領収書 (コピー)

※なお、65歳以上の専門医は **5) 様式4** の診療実績報告書の提出は免除といたします。

4. 更新審査料および更新登録料

10,000 円（更新審査登録料 10,000 円）を所定の口座にお振り込みください。

なお、既納の更新審査料は返還しません。また更新登録料も審査不合格の場合を除いては返還しません。

※振込みは金融機関備え付けの用紙をご使用ください。

※通信欄に「レーザー分野指導医更新審査料として」とご記載ください。

【ゆうちょ銀行から送金の場合】

郵便振替口座：00140-8-51198

加入者名：日本形成外科学会 認定医認定委員会

【他の金融機関から送金の場合】

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九店（ゼロイチキョウ店）

預金種目：当座

口座番号：0051198

5. 書類提出期間

2027年1月1日（金）～2027年1月31日（日） 必着

6. 更新審査書類送付先

更新審査書類の提出は、書留またはそれに準じる方法で委員会へ送付してください。

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 F

日本形成外科学会事務局 レーザー分野指導医認定委員会

7. 更新審査の時期

2027年2月～3月実施予定

8. 更新審査の結果の発表および登録

レーザー分野指導医資格更新審査の結果は、レーザー分野指導医認定委員会が理事長に報告し、理事会の議を経て申請者に通知します。更新登録料の納付を確認した後、理事長が学会の指導医資格名簿に登録のうえ公示します。認定証は、追って理事長が本人に送付します。

9. 申請書類記入・作成に関する注意事項

- 1) ダウンロードした書類にて作成してください。
- 2) 年号の記載は西暦を用いてください。
- 3) 業績目録 [資格更新申請用] (様式3)

レーザー分野指導医資格を更新するためには、レーザー分野指導医資格取得後、下記の『**業績として認められる活動・研究歴およびその点数**』に示す所定の学会活動歴もしくは研究業績が必要です。

レーザー分野指導医に登録された後の5年間（2022年1月1日～2026年12月31日）において総計20点以上の業績点数を取得しなければなりません。

なお、総計20点を満たしていれば、すべての点数の申告は必要ありません。

●業績目録は各種年度ごとに記載し、併せて業績目録を証明する以下の資料を添付してください。

- ・学会参加章（コピー可）※領収証は参加章として認められません。
- ・レーザー分野指導医教育セミナー受講証明書（コピー可）
- ・学術集会プログラム抄録集における申請者の発表が掲載されているページのコピーおよび、大会名・開催日が掲載されているページのコピー
- ・申請者の論文と判断できるページのコピー
※学術集会プログラム抄録集および論文は、該当申請者名に下線を引いてください。

■業績として認められる活動・研究歴およびその点数

- ・日本形成外科学会会期中（春の「総会・学術集会」と、秋の「基礎学術集会」が対象）の
 - ・レーザー領域に関する特別プログラムでの講演・座長・司会————— 5点
 - ・レーザー領域に関する発表（筆頭）————— 5点
 - ・レーザー領域に関する座長・司会————— 2点
 - ・レーザー分野指導医認定教育セミナー受講・講師————— 4点
- ・各地区の形成外科学会学術集会および地方会における
 - ・レーザー領域に関する発表（筆頭）————— 2点
- ・レーザー領域に関する国内学会参加————— 4点
- ・レーザー領域に関する国内学会における講演・発表（筆頭）————— 4点
- ・レーザー領域に関する国内学会における座長・司会————— 2点
- ・レーザー領域に関する国際学会参加————— 4点
- ・レーザー領域に関する国際学会発表（筆頭）————— 4点
- ・レーザー領域に関する学術論文（和文：筆頭）————— 6点
- ・レーザー領域に関する学術論文（英文：筆頭または corresponding author）————— 6点
- ・レーザー領域に関する学術論文（和・英文：共著者）————— 2点
- ・形成外科診療ガイドライン作成時に、レーザー領域部門のガイドライン執筆者
または責任者として携わった場合————— 3点

注1：レーザー領域に関連する業績として認められるか否かについては、レーザー分野指導医認定委員会が決定します。

注2：日本形成外科学会学術集会、各地区の形成外科学会学術集会および地方会への参加のみでは実績と認められません。

注3：国内および国際学会参加および座長・司会については、①日本レーザー医学会、日本美容外科学会、日本美容皮膚科学会など、レーザー疾患に関連した学会・研究会であること、あるいは、②名称に“レーザー”を冠する外科系、内科系学会・研究会などレーザー疾患に関連した学会・研究会で、これについては形成外科関連疾患またはその病態全般を取り扱っていることが条件となります。②についてはレーザー疾患に関連した学会・研究会であることが判断できるプログラム（抄録など）を提出してください。

国内および国際学会における講演・発表については、レーザー疾患に関するプログラムまたはセッションであること、かつ講演・発表がレーザー疾患に関する内容であることが条件となります。こちらに関しても、それを証左するプログラム（抄録など）を提出してください。

注4：上記以外の学会は委員会内でレーザー領域に関する学会かを判断いたします。疑問の点は事前に学会事務局までお問い合わせください。

注5：学術業績として、レーザー分野指導医に登録された後の5年間において総計20点以上を獲得しなければならない。

4) 診療実績報告書(様式4)(65歳以上の分野指導医は提出が免除になります)

分野指導医資格を更新するためには、分野指導医資格取得後に関わった症例の【件数】を記載して報告してください(手術したもの以外も含む)。

申請書類は原則として返却いたしません。必ずコピーを取ってください。

10. 問い合わせ先

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9F

日本形成外科学会事務局 レーザー分野指導医認定委員会

E-mail: jsprs-office01@shunkosha.com

お問い合わせは、E-mailにてお願いいたします。